

絆

赤井むつみ後援会便り第65号

笑顔あふれる温かい町に！

2024年 9月 発行



決算委員会終了！

一般会計 収入（歳入）	196億 1,505万円	（昨年は、163億 7,695万円）
支出（歳出）	191億 9,505万円	（昨年は、158億 2,816万円）
貯金（基金）	152億 2,245万円	（昨年は、134億 3,770万円）
借金（町債）	127億 3,346万円	（昨年は、129億 517万円）

2023年度は5億 1,757万円の黒字決算となりました。収入は昨年度に比べ町税・地方交付税・ふるさと納税が増え、特にふるさと納税が34億円と倍近くになったこと、支出で人件費や扶助費など義務的経費が減少したことが黒字の主な理由です。

黒字決算は嬉しいですが、人口減による働き手不足、後継者不足、温暖化による海水温上昇で海の魚はほとんど獲れず、最近ではホタテ養殖も危機的状況にあり、安心できる状況ではありません。

私たちの日常生活を見ても最低賃金が上がったとはいえ、それ以上の物価高、さらにコメ不足と価格の高騰など、明日の生活にさえ不安を感じる状況となっています。八雲町に暮らす町民一人一人が幸せでなければ、町の幸せは成り立ちません。今こそ、みんなで知恵と力を合わせて、どうしたらみんなで幸せを実感しながら日々の生活を、安心して送ることができるのかを、一緒に考え実践していきましょう！

補正予算の主なもの

2024年度 一般会計補正予算（第6号）より

- ★総務管理費： 113万7千円 庁用備品購入費（シュレッダー、暖房用ストーブ）
- ★農業費： 573万3千円 入沢幹線用水路目地補修工事請負費
- ★商工費： 1,276万円鉛川レクリエーション施設 施設修繕費 256万3千円
機械器具等修繕料 1,019万7千円

◎八雲町の年末年始の休日変更について（国や道に合わせて）

（現行）12月30日から翌年1月4日⇒（改正後）12月29日から翌年1月3日

◎財産の取得について（土地の取得）

役場庁舎の一部として活用を予定している旧八雲養護学校と一体で管理するため
学校用地 2筆を北海道教育委員会より 1,222万円で購入

◎町道路線の変更について（音名川線）

（旧）起点：八雲町春日 33番地1地先 終点：八雲町春日 595番地先 5591,8m

（新）起点：八雲町春日 46番1地先 終点：八雲町春日 595番地先 5584,67m

一般質問

問1 『八雲町公共施設等総合管理計画は現状に合っていますか？』

各自治体が持続可能なまちづくりを目指すこの計画は、八雲町では2016年に策定し2022年に見直されていますが、八雲町における人口減少は国から言われなくても、町長が一番肌で感じていることと思います。そこでこの計画を立てる上で、一番重点を置いたのはどこでしょうか？また、この計画では、将来に向けて公共施設の面積をなるべく小さくし、維持費がかからないようにするのが目的ですが、病院とか学校は人数や面積だけでは測れないものがあると思います。そのように考えたとき、この計画内容は八雲町の現状に合っているのでしょうか？

答 『人口減少対策が主目的！』

過去に整備してきた公共施設のほとんどが、現在 20 年以上経過し、経年劣化等による更新期を順次迎えてつあり、今後これらの更新費用が町財政の大きな負担となる。将来の公共施設の運営費・整備費の圧縮を総合的に図り、町財政の軽減を図りながらも町民の充実した生活環境を維持していくため、今後も利用実態や町民ニーズの変化に柔軟に対応し、最善の方策を取り入れていく。



問2 『立地適正化計画の進捗状況は？』

ネットワーク型コンパクトシティの実現のため、2014 年国が指示し、八雲町では 2019 年に策定されました。富山市では国が言う前の 2007 年から、各課はもちろん民間とも連携しながら自分たちにとって最も良い形を考え実践し、富山県は人口減少しても、富山市は暮らしやすい街という事で、移住が増えているそうです。八雲町でも、各課の連携と町民との協働で、住み慣れた地域に住み続けながらも「便利になった」ことを実感できる計画の推進を早急に検討してほしいと思いますが、いかがでしょうか？

答 『町民の意見を聞きながら進めていく』

立地適正化計画の中で八雲町の課題を整理し、計画書の50ページに7つの必要事項を掲載。将来も持続可能なまちづくり目指し、各課でそれぞれ政策や計画、具体的なものを推し進めている。来年から病院の患者輸送バスを無料で落部から黒岩、熊石までの計画を進めているが、公共交通は大変難しいと感じている。町内会館も、災害の時の避難所や選挙の時の投票所になることもあるので、全体を見ながら職員や町民の意見も聞きながら進める。



1. このままだと熊石中学校が複式になってしまうため、小中学校を一つにして1年生から9年生までの『義務教育学校』を考えているとの報告を受けました。私自身は施設一体型の義務教育学校の導入には賛成ですが、人数が大幅に減ってからでは効果も減少してしまうのではと不安があります。是非、子ども達が輝く義務教育学校を目指してほしいと思っています。
2. 富山市では人口減少対策として、早くからコンパクトシティの在り方を検討し、住民にとって住みやすい街づくりの実践に向けて取り組んでいます。八雲町でも、それぞれの地区の特色を生かし、公共交通における課題は多いと思いますが、今の地域に住み、免許証を返納しても住みやすい街づくりを是非是非、早急に検討してほしいと思っています。

第3回定例会 決算委員会より

- ◎ 新役場庁舎整備事業：1億1100万5千円
 - ・ 役場庁舎等建設工事实施設計業務：5284万1千円
 - ・ 新庁舎ZEB化検討支援業務：30万2千円
 - ・ 新庁舎執務環境プラン策定支援業務：19万2千円
 - ・ 旧国立病院建物解体工事实施設計業務：2948万円
 - ・ 旧国立病院宿舎解体工事实施設計業務：147万5千円 解体工事：2501万4千円
 - ・ 建物修繕：156万9千円 事務費：13万2千円
 - ◎ ウクライナ避難民等受入事業：651万8千円 ウクライナ避難民を受け入れるため、5戸を最低限の改修をし、家電をそろえて入居できるようにしました。残念ながらウクライナから避難されてきたお二人は、ウクライナに帰国しましたが、今後連携している大学の調査等に活用予定
 - ◎ 熊石総合センター大規模改修事業：1億6627万8千円
 - ◎ 渡島廃棄物処理広域連合負担金：1億7494万1千円
八雲地域ゴミ処理関連業務委託料：1億5970万1千円
- ※どちらも私たちが日常的に排出しているごみ処理に関する費用です。人口が減っているのに、なぜかごみの量はそれほど減っていないのが現状です。食材は使い切る、食べ残しをしない、余分な包装はしない、マイバックを持ち歩く、こまめに分別を行う、リサイクルできるものはリサイクルを！等々、みんなでごみを減らす努力をしていきましょう！
- ◎ 八雲中学校大規模改修事業：7億6165万4千円
冬暖かく、夏涼しい快適な校舎となっているでしょうか。生徒一人一人にとって心安らぐ居場所となってくれることを心から願っています。

議会報告会での意見より

<熊石会場>

- ・ 地域でサーモンのふ化事業を行うことで、熊石地域に収入はあるのか？
- ・ 知内、江差、大成等も養殖しているので、どこかで熊石の差別化を図らなければならないと思う。販路拡大や加工施設も準備し、熊石に行くと二海サーモンがすぐにお買い得、その場で食べることもでき、味も良いということが大切。そのことにより雇用もできるし、働く人も増えていく可能性もあるのではないかと。いろいろな面でこの事業は可能性のあると思う。
- ・ 熊石地域は空家も多くなっていることもあり、冬に歩道の雪をどっさり置いて行って、高齢者は車を出すこともできないことがある。そこを近所の機械を持っている人が好意で除雪してくれているので、そうしたことに油代や人件費等を町から出すことはできないのか？

<八雲会場>

- ・ 農業者が減っているので、八雲の農業は今後大丈夫なのか？農業に危機がなければよいが、そうであれば新しい事業にばかりお金を使わないで、もっと農業と漁業にお金を使うべき。
- ・ 人口減少の中、八雲町が生き残るためにいろいろな取り組みをしているが、それら全てが将来自立し、いつまでも町費を投入しなくても良いようにしなければならない。これからは新しいものを作るのではなく、今あるものを生かしていく方法も考える必要がある。将来を考えて今からしっかり準備が必要。

今年も生涯学習フェスティバル！

10月5日(土)

・駅前花壇の花起し(9時～)

夏の間駅前を華やかに飾ってくれた花壇ですが秋始末になってしまいます。また来年をお楽しみに！

・お年寄りと子どもの集い(1時～4時30分)

みんなで植樹を行いながら、木や森の不思議と素晴らしさをみんなで体験しましょう！

10月6日(日)

10時～14時30分

『木で遊ぼう！(木育)』を行います **会場：町民センター**

みんなで木の名前を覚えたり、木で巣箱やミニカーなど作ってみませんか？ お子さんはもちろん、大人の方のお手伝いも大募集です！ お待ちしております！！

10月10日(木)～12日(土)

『花かご』無料公演会です！

10日はぴあ八雲 10時：人形劇

13時30分：みんなで歌おう！

11日相沼和の家

13時30分 人形劇&歌声

12日落部レクセン

10時 人形劇&歌声

幼児から高齢者までみんなで楽しめます！

10月19日(土)

9時～15時

公民館集合・解散

ジオパークツアーが行われます

加藤孝幸氏(地質専門家・八雲出身)他を講師に、下の湯・乙部町しびの岬・熊石で、地熱・温泉、地下水の仕組み等を学び、地球の面白さ、自然の偉大さを体験しましょう！

申込先：八雲シンフォニー(62-4300)

10月18日(金)～20日(日)

山車作り講習会：本場弘前から先生をお招きし、来年の山車行列に向けて、絵の描き方を一緒に学びましょう！

11月7日(木)19時～ はぴあやくもで『山車行列40周年祝賀会』

コロナ感染予防のため、縮小開催をした年もありましたが、今年40回目を無事終えることができました。関係機関、町民皆様に心から感謝を伝え、これからもみんなが心ひとつに盛り上がり、町の活性化につながる山車行列を目指していきます。

10月26日(土)16時～ はぴあ八雲でハロウィン!

みんなで変装して本町商店街を探検しましょう！ **「Trick or treat！」**

詳しいことは、幼稚園・保育園・学校でチラシが配布されますので、お見逃しなく！

12月14日(土) クリスマス会を予定しています！ お楽しみに！



12月7日(土) 13時～15時

八雲町民センターで キッズパフォーマンスを行います。

子ども達が、歌やダンス、楽器演奏などいろいろ発表してくれます、是非、お越しください！

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090(赤井)

赤井自宅 栄町56-12(栄町3区) ☎ 63-2090 ホームページは「赤井むつみ」で検索！